

営農技術情報

一畑作（大豆④）一

平成30年 7月31日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524

JA道北なよろ TEL01655-3-2521

JA道北なよろ営農センターTEL01654-3-4307

1 病害虫防除

(1) マメシクイガ（大豆）

「フェロモントラップ」によるマメシクイガ成虫の捕獲頭数は下表のとおりです。本年は、7月末より成虫の飛来が確認されています。

表1 マメシクイガ成虫の捕獲頭数

| 設置場所 | 本年 7月26日 | 昨年 7月31日 |
|------|-------------|-------------|
| 風連豊里 | 2 | 2 |
| 中央 | 3 | 7 |
| 西風連 | 2 | 2 |
| 智恵文 | 0 | 0 |

マメシクイガの産卵は、大豆の莢長が2～3cmとなる頃（莢伸長始）より始まります。本年は、は種時期によって生育差が大きく開いている状況です。5月20日頃までは種したほ場では、すでに莢伸長期に入っていますが、5月下旬には種したほ場では、開花盛期の状況ですので、各ほ場での生育状況を確認の上、下記を目安に防除を開始して下さい。

また、1回目の防除はなるべく残効の長い薬剤を選択するようにして下さい。

マメシクイガの防除

★成虫および莢伸長始の両方が認められてから6日後を目処に防除を開始する。

【1回目】

- ・防除時期：成虫および莢伸長始の両方が認められてから6日後
- ・散布薬剤：合成ピレスロイド剤もしくはジアミド剤

【2回目】

- ・防除時期：1回目防除の7～10日後。
- ・散布薬剤：有機リン剤

※株元や莢に薬剤が十分にかかるように散布する。

【マメシクイガの防除薬剤例】（登録内容は平成30年7月30日時点）

| 散布時期 | 薬剤名 | 系統名 | 使用倍率 | 使用時期 | 使用回数 | 残効 |
|------|-------------|------|--------|------|------|----|
| 1回目 | ゲットアウトWDG | 合ピレ | 3,000倍 | 7日前 | 3回以内 | 長 |
| | トレボン乳剤 | 合ピレ | 1,000倍 | 14日前 | 2回以内 | 中長 |
| | プレバソフフロアブル5 | ジアミド | 4,000倍 | 7日前 | 2回以内 | 長 |
| 2回目 | トクチオン乳剤 | 有機リン | 1,000倍 | 30日前 | 3回以内 | 中 |
| | エルサン乳剤 | 有機リン | 1,000倍 | 7日前 | 2回以内 | 短 |
| | サイアノックス乳剤 | 有機リン | 1,000倍 | 7日前 | 2回以内 | 短 |

※「ゲットアウトWDG」はアブラムシ類にも登録があります。

※「トレボン乳剤」、「エルサン乳剤」はアブラムシ類、カメムシ類にも登録があります。

※「トクチオン乳剤」はアブラムシ類、ハダニ類にも登録があります。

(2) ツメクサガ、ハダニ類

本年は、害虫の発生が多い状況です。特に、チョウ目害虫による食害が目立ちます。また、ハダニ類は高温・乾燥条件が続くと多発しやすくなります。ほ場外周部から発生が見られることが多いですので、発生状況を確認した上で防除を検討しましょう。

【ツメクサガ、ハダニ類の防除薬剤例】（登録内容は平成30年7月30日時点）

| 害虫 | 薬剤名 | 系統名 | 使用倍率 | 使用時期 | 回数 |
|-------|------------|-------|--------------|------|------|
| ツメクサガ | トクチオン乳剤 | 有機リン | 1,000倍 | 30日前 | 3回以内 |
| | エルサン乳剤 | 有機リン | 1,000倍 | 7日前 | 2回以内 |
| ハダニ類 | ダニトロンフロアブル | ピラゾール | 1,000~2,000倍 | 7日前 | 1回 |

※「トクチオン乳剤」はハダニ類にも登録があります。

(3) 菌核病

湿度が高く、花落ちが悪い場合に発生が多くなります。開花後7~10日間隔で2~3回防除しましょう。

【防除薬剤例】（登録内容は平成30年7月30日時点）

| 薬剤名 | 使用倍率 | 使用時期 | 使用回数 |
|--------------|--------------|------|------|
| スミレックス水和剤 | 1,000~2,000倍 | 21日前 | 4回以内 |
| カンタスドライフロアブル | 1,500倍 | 7日前 | 3回以内 |

(4) 茎疫病

6月中旬~7月中旬にかけて、降水量が多かったため、既に発生が見られています。大雨等により滞水すると発生が拡大しますので、降雨前の防除とともに滞水が見られた場合はポンプでのくみ上げや「溝切り」等により、速やかに排水させましょう。

【防除薬剤例】（登録内容は平成30年7月30日時点）

| 薬剤名 | 使用倍率 | 使用時期 | 使用回数 |
|------------|--------|------|------|
| プロポーズ顆粒水和剤 | 1,000倍 | 21日前 | 2回以内 |
| リドミルゴールドMZ | 500倍 | 45日前 | 3回以内 |

※「プロポーズ顆粒水和剤」、「リドミルゴールドMZ」はべと病にも登録があります。

農薬安全使用

- ・必ずラベルを読み、使用量・時期・回数を確認し、適正に使用しましょう。
- ・周辺作物への農薬飛散には十分注意しましょう。

農作業中の熱中症に十分にご注意下さい！

- ・休憩をこまめにとることで1回の作業時間を短くする等、作業内容を工夫しましょう。
- ・身体のだるさや頭痛等、体調の異変を感じた場合は、すぐに屋内やエアコンを入れた車中に退避するようにしましょう。
- ・水分や塩分をこまめに摂取し、汗で失われた分を補給しましょう。特に、気温が著しく高くなりやすい施設内での作業では、十分に注意しましょう。
- ・帽子を着用するとともに、汗を発散しやすい服装をしましょう。